

科目名	女性の精神保健学 Mental Health for Women
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春C 木曜1,2時限
単位数	1単位
担当教員名	岡山 久代 Hisayo Okayama 森 千鶴 Chizuru Mori 大井 雄一 Yuichi Oi 金澤 悠喜 Yuki Kanazawa 非常勤講師: 宗田 聡 Satoshi Soda
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	岡山 久代 4B棟 509 okayama@md.tsukuba.ac.jp オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること
授業の到達目標 (学習成果)	思春期・性成熟期・更年期・老年期にある女性の精神の健康と健康問題をもつ女性に対応する実践、相談、調整、倫理的調整について説明できる。 妊娠・出産・産褥という身体変化に伴っておこる精神の健康と健康問題をもつ女性に対応する実践、相談、調整、倫理的調整について説明できる。 妊娠・出産・産褥を経験する精神障害者の援助について研究的視点から考察できる。 周産期のメンタルヘルスにおけるケアシステムの課題と政策を分析し、対策を検討できる。
他の授業科目との関連	ウィメンズ看護学特論・演習
履修条件	なし
授業概要	女性のライフサイクルに伴って変化する精神の健康と健康問題、および妊娠・出産・産褥を経験する女性の精神の健康と健康問題を理解し、アセスメントするための能力を養う。周産期のメンタルヘルスにおけるケアシステムの課題と政策を分析し、研究的視点から考察する力を養う。
キーワード	精神健康 Mental Health 女性 Women 暴力被害 Domestic Violence
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。必要な事前準備をして講義を受けることが望ましい。なお、演習の時間を設ける。 1 (7/4 1限) (周産期のメンタルヘルスの現状と課題1) (宗田) 2 (7/4 2限) (周産期のメンタルヘルスの現状と課題2) (宗田) 3 (7/11 1限) (健康生成論に関する調査研究内容) (大井) 4 (7/11 2限) (働く女性の精神保健、働くパパ・ママのメンタルヘルス) (大井) 5 (7/18 1限) (暴力被害を受けた女性へのケア) (金澤) 6 (7/18 2限) (メンタルヘルスの問題を持つ周産期事例の検討1) (岡山) 7 (7/25 2限) (メンタルヘルスの問題を持つ周産期事例の検討2) (岡山) 8 (8/1 1限) (妊娠・出産・産褥を経験する精神障害者の理解内容) (森) 9 (8/1 2限) (妊娠・出産・産褥を経験する精神障害者へのケア内容) (森)

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>講義(50%)と演習(50%)を併用する</p> <p>講義ごとに課題を提示することがあるので、事前に確認すること。精神の健康問題に関わる文献を活用し、理解を深める。</p>
成績評価方法	<p><評価方法と配分役割> 授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な問題を設定できる。 2. 設定した問題の背景を説明できる。 3. 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる。 4. その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる。 5. 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる。 <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである。</p> <p>A+ 上記1～5を自身で達成できる。</p> <p>A 上記1～5をほぼ自身で達成できる。</p> <p>B 上記1～5を教員の指導を受けながら達成できる。</p> <p>C 上記1～5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。</p>
教材・参考文献・配布資料等	<p>毎回プリントを配布し、それに沿って進める。従って指定する教科書はない。</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	